

パリ DAC 通信(アクラハイレベルフォーラムは AAA を採択)

アクラハイレベルフォーラムは AAA(Accra Agenda for Action: アクラ行動計画)を採択しました。

■遅すぎるパリ宣言の進展

AAA は、2005年に採択されたパリ宣言による援助効果向上の取り組みについて、ドナーの協調や被援助国のマネジメントという進展は見られるものの、進展のペースは遅すぎると評価しています。このため、AAA は、パリ宣言の目標年である2010年に向けて取組を加速化させる必要性を強調しています。

■キーワードはオーナーシップ、パートナーシップ、開発成果

AAA は、援助効果向上の取り組みを加速化させるために必要なアクションを、オーナーシップ、パートナーシップ、開発成果の3つのキーワードにまとめています。「オーナーシップ」においては、被援助国の議会や市民社会の政策決定への関与強化や、ドナーによるカントリーシステム活用及び援助フローの予測可能性向上、「パートナーシップ」においては、旧来のドナーだけではなく新興国、グローバルファンド、民間セクター、市民社会組織などの援助アクターとのパートナーシップ構築、「開発成果」においては、援助の開発成果に対する説明責任体制の強化について重要性が強調され、それぞれ具体的なアクションが記載されています。

■ただし AAA におけるアクションは総花的

AAA に記載されているアクションは、上記の3つのキーワードのもとにまとめられていますが、実際にはパリ宣言の5つの原則の下にあるコミットメントをほぼ網羅しており、さらに、これらアクションのモニタリングを行い、2011年に開催される次回のハイレベルフォーラムに報告することも記載されています。このため、AAA は、パリ宣言の取り組みが遅れているコミットメントをフォローするためのものというよりは、総花的なアクションによりパリ宣言のコミットメントを再確認するものといえます。

■欧州諸国が非常に強い関心を寄せる AAA

AAA の交渉においては、EU や欧州諸国が、特に援助の予測可能性、カントリーシステムの活用、援助の分業、相互説明責任などのアクションについてより野心的な記載とすべき主張を強め、事務レベルで一旦合意が成立した AAA が、ぎりぎりの段階で欧州諸国の閣僚により大きく変更されるという事態となりました。閣僚級が交渉において微細で技術的な文言に拘る姿勢から、欧州諸国が援助効果向上に対し高いレベルで非常に強い関心を有していることがわかります。

採択された AAA 原文はこちら(www.accrahlf.net)でご覧いただけます。